

〒758-8555 山口県萩市大字江向510
TEL : 0838-21-7765
e-mail : hg-geo@city.hagi.lg.jp
HP : <http://www.city.hagi.lg.jp/site/hg-geo/>

発行：萩ジオパーク構想推進協議会 事務局

『みんなで守ろう自然と環境。発表会 7/2（土）13:00～』

「守ろう美しい町実行委員会」と「萩・福栄 水と命を守る会」の2つの市民団体が主催して、萩市と阿武町の小・中学校の児童・生徒による学習・研究発表会が開催されました。今年、小川小学校、弥富小学校、見島小学校、三見中学校、阿武中学校が参加しました。各学校が所在する地域での自然と環境学習への取組や、その成果などが紹介されました。

特に、小川小学校と弥富小学校は、萩ジオパーク構想のジオサイト「龍が通った道」のジオポイントである上ノ原台地・龍鱗郷・猿屋の滝・豊ヶ淵などの現地を探訪し、地域の人やジオパーク推進課職員の解説を聞いて、大地の成り立ちの理解を深めていました。また、果樹栽培や湧水などの大地の恵みについても話が及びました。小川小学校のまとめの言葉、「地域の人、物、事に感謝！」が印象に残りました。

発表会の後は、「萩・阿武の大地の遺産とその魅力」と題して、伊藤靖子ジオパーク推協事務局員による講演が行われました。ジオパークと萩の大地の見どころを紹介した話に、参加者の皆さんは熱心に耳を傾けていました。



(パワーポイントを使った小学生の発表)

萩ジオ構想推協三部会（地域振興・教育普及・調査研究）が開催されました

6月8日（水）、午後2時から萩市役所で、「地域振興部会」が開催されました。日本ジオパーク認定に向けて、今年度に取り組む事業について協議の後、以下に記す現地審査への対応に関しての話し合いが行われました。

6月14日（火）、午後3時から萩市民体育館において、萩市内小・中学校のジオパーク担当の先生方にお集まりをいただき、「教育普及部会」を開催しました。今回はこれまでの取組状況を確認した後、小グループに分かれて、既に各教科や「ふるさと学習」で行っている事例、今後、実施すると良いと思われることについて話し合い、グループ別に紹介し合いました。

6月29日（水）、午前10時から萩博物館において、「調査研究部会」が開催されました。これまで萩まちじゅう博物館の活動として、地域の方が再発見し「おたから」として認定されたものについて、大地との関わりを検討し、ジオサイトの構成要素とするに関して話し合いました。

なお、8月7日（日）から9日（火）にかけて、日本ジオパーク認定の現地審査が行われます。現地審査では、7日に事務局ヒアリング、8日にジオサイト「笠山とその周辺」（越ヶ浜小学校）・「須佐湾・高山」（須佐湾遊覧船）・「龍が通った道」（豊ヶ淵交流事業実行委員会）を巡り、各地域の取組についての確認とヒアリング、9日に萩城下町で地域の文化・歴史に纏わるエピソードの中のジオについて説明の後、萩博物館で拠点施設の状況、ジオパーク活動に連携して取り組む「萩まちじゅう博物館」の活動状況、推進協議会の活動状況等のヒアリングがあり、その後、審査員の講評が行われます。

審査員の方に、萩ジオパーク構想のすばらしさを理解していただけるよう全力でアピールしますので、皆様の応援を、どうかよろしく願いいたします。



(教育普及部会でのグループ討議)

《お知らせ》10月10日（月）～12日（水）に、日本ジオパークネットワーク・伊豆半島大会が開催されます。全国の仲間の活動にふれてみませんか。8月末が参加申込みの締め切りとなります。詳しくは次号の推進協議会だよりでお知らせします。

山口博物館「地質めぐり」で

6/19 (日)

「古第三紀田万川コールドロン」を巡検

山口県立山口博物館主催、山口地学会共催の「地質めぐり」が、萩市東部をフィールドに実施されました。

「古第三紀田万川コールドロン」とは、約4300万年から3000万年前に、山陰西部地域にいくつも形成されたコールドロン(カルデラ)の1つです。萩市弥富地域から小川地域、益田市の一部にかけて、北東から南西方向にのびた径が14×7kmの楕円形をしており、1969年に山口大学の故・村上允英先生によって発見されました。マグマが噴出した後の空隙の天井部分が崩れ、落ち込んだものを「カルデラ」とよび、外輪山と凹地形を想像しがちですが、ここでは侵食が進み、カルデラの底の岩石(噴出しきらず残ったマグマが冷えて固まったもの、花こう岩)が見えています。

この日の巡検では、イラオ火山灰層観察施設をスタートに、その先の農道建設現場で見つかったカルデラ壁崩壊角礫岩(岩屑流堆積物)や凝灰岩の層を観察しました。噴出したマグマがつくった外輪山やもとの基盤である1億年前の凝灰岩や頁岩が巨大な塊のまま崩れ積もったもの(メガブレッチャー)の発見は、破局噴火を起こすような巨大カルデラ噴火だったからこそ、大きな空洞ができた証拠で、論文発表前の最新研究の成果です。そして、村上先生によるコールドロン発見のきっかけとなった黒雲母花こう岩を見学して、巡検を終了しました。



(熱心に説明を聞く参加者の皆さん)

萩ジオパーク構想に関する出前講座開催希望のご案内

昨年度は、お陰様で出前講座を54カ所、延べ約1400名の方を対象に行うことができました。引き続き、今年度もお声がけいただいた地域に出向き、「萩ジオパーク構想」についてお話をさせていただきます。講座では、「ジオパークとは何か」から始まり、ジオパークで暮らす心構えとも言えるべき「萩ジオパーク構想についての説明」をした上、各地域の大地の成り立ちや見どころについて、できる限り分かりやすく説明をしています。

また、講座に参加された皆様からいただく、各地域のジオにまつわるエピソード(地域に産する石や鉱物の話、大地のめぐみの話、ジオパークと関わり深い地名の話など)が大変すばらしく、これからジオストーリーを組み立てる際に、役立てたいと考えています。出前講座は、ジオパークについて興味や関心のある10人以上の団体やグループなら、どなたでも申込みができます。どうぞ、気軽にお問い合わせください。



(伊藤補佐による出前講座)

龍が通った道まつり 7月24日(日)、9:00~15:00、場所:弥富交流促進センター(弥富公民館)ほか。

6つの地点に設けられたスタンプを押しながら、「龍が通った道」の見どころを巡り、解説を聞きます。各所で地元特産品の販売も行います。地域交流センターでは、弥富十割そばやおにぎりなどの飲食ブースがあり、「龍が通った道」を太鼓で表現した弥富龍神太鼓の演奏は午後1時から。全部巡った方には、豪華景品もあります。

主催:豊ヶ淵交流事業実行委員会

○**教員現地研修会** 8月10日(水)、8:00~13:00、内容:学校教員向け現地見学会、

主催:萩ジオパーク構想推進協議会

○**萩市学校教育研究大会** 8月19日(金)、13:00~16:00、萩ジオパーク構想、特に

教育分野についての説明を30分間行います。主催:萩市教育委員会

○**日帰り 萩★海のパラダイスツアー** 8月20日(土)、内容:特設列車に乗って海岸線を楽しみ、萩の海の知られざる魅力やヒミツを楽しみながら学ぶツアーです。締め切り:8月6日(土)、問合せ・申込先:NTA トラベル 萩本店パラダイスツアー係(電話:0838-21-0020)

8月の予定